

足りなかった読解力の強化で
苦手だった国語の勉強も楽しくなった

両国高校附属中学校

合格

合格者インタビュー / 水野 修さん

合格までの軌跡

4年次のスタートクラスでは公立と私立どちらを志望にしてもよい指導を受けていましたが、公立に必要なあゆみの評価がクリアでき、5年の夏から公立に絞りました。ただ、国語が苦手、公立で求められる読解力が不足していました。僕のスタイルは長文の中にキーワードを探して、そこから推測して解答しようとする力技。それではキーワード探しに時間をとられがちで、先生から、勝手に推測せずに「自然に読んで自然に解く」ことを指導されました。また、大人向けの文章を要約する特訓も、日常的に家でできるよう親も含めて指導してもらえました。明利学舎のよさは少人数制で、一人ひとりの生徒への指導時間が長いこと。直前期に点数が落ちて不安になったのですが、苦手をしっかり補強してもらえ、本番では得意分野以上に得点できました。明利学舎のおかげで難しい問題と出会い、それをいろいろな技を使って解いていくことを学び、今では勉強がとても楽しいです。



後輩のみなさんへメッセージをお願いします。

勉強は、時間ではなく質が重要です。僕自身は頑固で自分のスタイルをなかなか変えられずに伸びなかった時期がありましたが、先生のアドバイスを素直に聞くことで勉強の質が上がりました。

苦手と向き合う姿勢を育み
難しい適性検査を攻略

副塾長

鈴木 利明先生

公立一貫校の受検に求められる力は3つあります。1に日々の学校での立ち振る舞い。リーダー育成が目的なので、あゆみの成績に加え、リーダーらしい態度が求められます。2に記述力。時間内に問いに対する正確な読解と自身の考えを書ききる力が必須です。3は即理解・即実行できる力。明利学舎では、そのために必要な読解を「マニュアル読解」と呼びます。教科問わず、長文を正しく読解できないと解答のフェーズまで進めない検査問題では、理解しやすい形に設問を要約しつつ読み進める力が必須です。その習得は大人のアシストなしには困難でしょう。水野さんは、その読解力が弱点でした。苦手と向き合うマインドがないと課題を課しても伸びないと考え、自分の課題を理解し、取り組んでもらえるようアプローチしました。適性検査は一過性の短期記憶に頼らない入試で、合格に関わらず、生きる上で必要な力が身に付く入試だと考えます。興味がある方は、ぜひご相談ください。



明利学舎 西葛西本校 公立中高一貫受検クラス(小5・6)

合格者多数
輩出の
秘訣

POINT



注目! 受験対策を超えた
「自ら学び深く知る力」の練成

注目! 少人数制の
質の高い授業と時間数の多さ

明利学舎 中学受験
YouTubeチャンネル



明利学舎HP



合格目指すなら!
輝かしい合格実績の明利学舎!!

